

請求の範囲

- [請求項1] pH3. 1～8に調整された、アスコルビン酸、ポリフェノール類から選ばれる1以上の水溶性抗酸化剤が溶解した水相Aと、pH0. 5～3に調整された、アスコルビン酸、ポリフェノール類から選ばれる1以上の水溶性抗酸化剤が溶解した水相Bが、それぞれ不飽和脂肪酸を含む油相中に粒子径500nm以下の大きさを微分散した、油中水型の不飽和脂肪酸含有組成物。
- [請求項2] 該水相Aに溶解された水溶性抗酸化剤がアスコルビン酸及び茶カテキンから選ばれる1以上である、請求項1記載の油中水型の不飽和脂肪酸含有組成物。
- [請求項3] 該水相Bに溶解された水溶性抗酸化剤がアスコルビン酸及び茶カテキンから選ばれる1以上である、請求項1又は2に記載の油中水型の不飽和脂肪酸含有組成物。
- [請求項4] 不飽和脂肪酸が高度不飽和脂肪酸である、請求項1～3いずれか1項に記載の、油中水型の不飽和脂肪酸含有組成物。
- [請求項5] 以下の工程による、油中水型の不飽和脂肪酸含有組成物の製造法。
1) pH3. 1～8に調整された、アスコルビン酸、ポリフェノール類から選ばれる1以上が溶解した水相Aを調製する工程。
2) pH0. 5～3に調整された、アスコルビン酸、ポリフェノール類から選ばれる1以上が溶解した水相Bを調製する工程。
3) 不飽和脂肪酸を含有する油相を調製する工程。
4) 水相A及びBをそれぞれ該油相に分散する工程。
- [請求項6] 以下の工程による、油中水型の不飽和脂肪酸含有組成物の製造法。
1) pH3. 1～8に調整された、アスコルビン酸、ポリフェノール類から選ばれる1以上が溶解した水相Aを調製する工程。
2) pH0. 5～3に調整された、アスコルビン酸、ポリフェノール類から選ばれる1以上が溶解した水相Bを調製する工程。
3) 不飽和脂肪酸を含有する油相を調製する工程。

4) 3) の油相を分割し、それぞれの油相に、水相 A ないし水相 B を分散し、それぞれ油中水型乳化物とする工程。

5) 4) で得られた油中水型乳化物を混合する工程。

[請求項7]

以下の工程による、油中水型の不飽和脂肪酸含有組成物における、保管初期段階に生じる異臭と、その後に生じる異臭の両方を抑制する方法。

1) pH3. 1～8 に調整された、アスコルビン酸、ポリフェノール類から選ばれる1以上が溶解した水相 A を調製する工程。

2) pH0. 5～3 に調整された、アスコルビン酸、ポリフェノール類から選ばれる1以上が溶解した水相 B を調製する工程。

3) 不飽和脂肪酸を含有する油相を調製する工程。

4) 水相 A 及び B をそれぞれ該油相に分散する工程。

[請求項8]

以下の工程による、油中水型の不飽和脂肪酸含有組成物における、保管初期段階に生じる異臭と、その後に生じる異臭の両方を抑制する方法。

1) pH3. 1～8 に調整された、アスコルビン酸、ポリフェノール類から選ばれる1以上が溶解した水相 A を調製する工程。

2) pH0. 5～3 に調整された、アスコルビン酸、ポリフェノール類から選ばれる1以上が溶解した水相 B を調製する工程。

3) 不飽和脂肪酸を含有する油相を調製する工程。

4) 3) の油相を分割し、それぞれの油相に、水相 A ないし水相 B を分散し、それぞれ油中水型乳化物とする工程。

5) 4) で得られた油中水型乳化物を混合する工程。